

もみじ少年団員募集中！

君もみんなと一緒に緑の少年団で
自然の仕組みや大切さを体験して
みませんか

多良峡もみじ

第6号

2008年12月10日

発行所

多良峡もみじ少年団事務局

編集 大嶽 喜久



多良峡もみじ少年団メンバー勢揃い

11月22日多良峡森林公園で開催された多良峡もみじの植栽イベントに少年団16名が参加しました。中学1年、小学6年の団員による記念看板の序幕でスタート。



記念植樹は、セイノールグループの田口会長、大垣市長、岐阜県林政部長、多良峡もみじの名所作り実行委員会会長の4名、5年生、3年生による8名の団員がもみじの苗の植樹アテンドとしてお手伝いをしました。

記念植樹のアテンド！

特集

多良峡もみじ植栽イベント

多良峡をもみじの名所に！セイノールグループと地域のみなさんによる第1回目の記念すべきイベントに我が多良峡もみじ少年団も参加しました

記念植樹のアテンドは、緑の少年団の晴れ舞台の一つです。今回もしっかりと役割を果たしてくれました。ごころさ



名の団員で構成された岐阜県では珍しい地域型のみどりの少年団です。中学生の団員は、部活などでなかなか活動に参加するのが難しいのですが、今回は参加することが出来ました。これから小学校の団員を引っ張っていく役目としても是非参加を期待しています。

体験イベントに挑戦

体験活動として木の枝を使ったペンダント作り、木の葉っぱのしおり作り、森の木の葉っぱや木を探る森のビンゴ、丸太切りなどの体験コーナーがありました。木の枝の輪切りに思い思いの絵を描いたり楽しかったで



までした。みんなVIPのお手伝いどうでしたか？市長さんやセイノールグループの会長さんとお話し出来ましたか。



モミジの植栽を実施！

みんなでモミジの苗を植えました

1. 式典の後、参加者は2キロ離れた植栽会場まで歩いて移動しました。少年団も真っ赤なモミジ色の団旗を先頭に歩いて移動です。多良峡は、広葉樹が黄色や朱色に色づき紅葉が丁度見頃でした。これから7年かかってこの多良峡をモミジで一杯にする夢の計画の第一歩です。そんな記念すべきイベントに参加できて幸せです。



針葉樹の人工林を間伐

して整備された植栽会場は、実行委員のみなさんによりこの日のために整備され、目印の竹くいが打ってありました。今回植栽するのはイロハモミジの苗で宮地区にある旗本高木家の屋敷跡から採取した苗を大切に育てていただいたものです。今回の植栽参加者は、約300人全部で600本のモミジの苗が植えられました。少年団のエリアには、全部で60本の苗を植えました。今回の植栽地点の1割が少年団と



保護者が植えた事になります。多良峡もみじ少年団結成の年に植えたモミジ。子供たちが大きくなって育ったモミジを見た時どう感じるのか楽しみです。

記念杭設置！



植樹地点に結成記念の杭を建てました！

少年団と参加された家族の方にモミジの植栽をしていただきました。今回少年団の結成記念の記念杭を現地に建てて来ました。また見てきてくださいね、立派ですよ。杭は実行委員会会長に作っていただきました。



体験イベントに参加の団員たち

高木家屋敷跡の紅葉

今回植栽したモミジは、宮地区にある西高木家の屋敷跡にあるモミジの古木からこぼれ落ちた種から芽生えた苗を実行委員会の皆さんが大切に育てて下さったものです。2年前に採取した苗を育てたのですが、その苗の親木が枯れてしまいました。まだ残った木はありますが残念です。でも子孫が多良峡に残って運命を感じます。



編集後記

みどりの少年団って何をするの？そんな人が多いと思います。今回のような植樹などを通じて緑や自然の大切さを学び、体験する事が目的です。植樹イベントは今年毎年開催してモミジが大きくなったからもみじ祭って良いですね。これからも色々取り組んでいきます、団員希望の方連絡下さいね。大嶽